

狂犬病から身を守る7力条

狂犬病を知る3力条

さ さまざまな国で今なお発生している感染症です。先進国でも感染する可能性があります。

犬 だけではなく、猫、コウモリ、キツネ、アライグマなど、発症したさまざまな動物にかまれてうつります。

感 染して発症すると、有効な治療法はなく死に至ります。

狂犬病の感染を防ぐ2力条

狂 犬病に感染した動物を、外見では、必ずしも判断することはできません。海外では、素姓のわからない動物にむやみに近づかないようにしましょう。

狂 犬病の流行地域（アジア、アフリカ等）に渡航し動物と頻繁に接触する場合などは、渡航前に狂犬病ワクチンの接種をうけましょう。

狂犬病の発症を防ぐ2力条

動 物にかまれた場合は、すぐに傷口をせっけんと水でよく洗い、できるだけ早く医療機関で傷の処置をしましょう。また、狂犬病ワクチン接種の必要性について相談しましょう。

動 物にかまれたなど、感染の恐れがある場合は、帰国時に必ず検疫所にご相談ください。検疫所では医療機関の紹介も行っています。



厚生労働省

年末年始における海外での感染症予防について、詳しくはこちらへ⇒
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/travel-kansenshou.html

